

新年度予算総額343億6千万円

一般会計は204億3千万円

8日に開催された市議会全員協議会で沼田市新年度予算の内示がありました。それによると、13年度の一般会計予算規模は、204億3,926万7千円で、前年度当初予算と比較して1億2,658万8,000円、0.6%の減少です。

また、一般会計及び特別会計等をあわせた予算総額は、343億6,727万9千円で、対前年度比0.2%の減です。地方交付税は0.6%減、地方債依存度は昨年度の9.7%から8.9%へ減少しました。経常収支比率は昨年度と同じ98.5%、実質公債費比率は昨年度の15.5%から15.0%へと少し改善されました。

普通建設事業費は10億8千万円30.3%減

公共事業と呼ばれる普通建設事業費は10億8,156万8千円で、前年度の15億5,266万3千円に比べ30.3%の減となりました。しかし、12年度の補正予算が3月議会に提案される予定で、国の緊急経済対策を盛り込んだ補正予算の関係で、その中に学校耐震化事業など18億6千7百万円程の普通建設事業費があり、事業実施は13年度に繰り越されるので、合わせて実質30億円近い公共事業が実施される予定で、前年度比で倍近い普通建設事業費となります。問題は、市内の景気に直接影響が出る市内中小建設業者向けの事業費がどのくらい確保されているかということではないでしょうか。経済建設委員協議会で建設課に確認したところ、道路等の補修、修繕などの予算配分はないとのことなので、建築関係に集中しそうです。市内中小建設・建築業者にも仕事が回るよう3月議会で行ってまいります。



現在建設中の沼中の教室の建設現場

民生費は53億5千万円2.2%の増

民生費は53億5,880万円で、前年比2.2%の増となり、新たに過疎化対策として集落支援員事業や養育医療給付事業などが取り組まれます。

LED防犯灯推進事業に1,000万円

各町・区負担の電気料も軽減へ



防犯灯の前に立つ井之川議員

沼田市の防犯灯は普通蛍光灯が主流で、壊れたり切れたりしたときにLED蛍光灯に変える程度の取り組みでしたが、今後5カ年計画で、全部の防犯灯をLED化する取り組みが始まり、新年度予算では1,000万円が予算化されました。

防犯灯のLED化は、各町・区で負担している電気料の軽減にもつながり、寿命も長時間になります。効率化の面でも利点が大きいのので、数年前から井之川博幸議員などが、市に取り組むよう提案してきました。

鳥獣被害対策実施隊の条例制定へ

中山間地に位置する沼田市では、最近特にイノシシやサルなどによる農産物への被害が増えています。地域によっては、農業経営を断念しなければならない事態もでていますが、農業者自身が電気柵設置などで自衛しているのが現状です。

行政としても自衛装置設置に補助金をつけるとか、地域の猟友会などに依頼して、駆除隊を編成し有害鳥獣の駆除を行なっています。しかし、猟友会の高齢化などもあり、苦戦しているのが現状です。今回、その打開のために「鳥獣による農林水産業に係る被害防止のための特別措置に関する法律」に基づき、沼田市鳥獣被害対策実施隊を設置し、そのための条例制定が3月議会に提案されることになりました。



シカ・イノシシ対策のフェンスの前で井之川議員

2013年2月17日 No.644

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町 983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料